

どんな 気持ち

なまえ

つぎの 文^{ぶん}を よんで、①から ③の もんだいに こたえましょう。

たくみは、うれしい 気持ち^きになりました。

① たくみは、どんな 気持ち^きになりましたか。

気持ち^きになりました。

かおるは、かなしい 気持ち^きになりました。

② かおるは、どんな 気持ち^きになりましたか。

気持ち^きになりました。

まことは、たのしい 気持ち^きになりました。

③ まことは、どんな 気持ち^きになりましたか。

気持ち^きになりました。

どんな 気持ち

なまえ

つぎの 文^{ぶん}を よんで、①から ④の もんだいに こたえましょう。

ゆうきは、かなしく なりました。

①ゆうきは、どんな 気^きもちに なりましたか。

なりました。

なおみは、さびしく なりました。

②なおみは、どんな 気^きもちに なりましたか。

なりました。

けんとは、うれしく なりました。

③けんとは、どんな 気^きもちに なりましたか。

なりました。

あきは、はずかしく なりました。

④あきは、どんな 気^きもちに なりましたか。

なりました。

気もちを よみ とる

なまえ

つぎの 文^{ぶん}を よんで、①から ③の もんだいに こたえましょう。

かめは、かけっこで うさぎに かって、うれしい
気^きもちに なりました。

①かめは、どんな 気^きもちに なりましたか。

気^きもち。

シンデレラは、ままははと おねえさんに いじわるを
されて、かなしい 気^きもちに なりました。

②シンデレラは、どんな 気^きもちに なりましたか。

気^きもち。

おおかみは、こぶたの れんがの いえを ふきとばせ
なかったので、くやしい 気^きもちに なりました。

③おおかみは、どんな 気^きもちに なりましたか。

気^きもち。

気もちを よみ とる

なまえ

つぎの 文^{ぶん}を よんで、①から③の もんだいに こたえましょう。

たくみは、るすばんを して います。おかあさんが
なかなか かえって こないので、たくみは さびしい
気^きもちに なりました。

①るすばんを している たくみは、どんな 気^きもちに なりましたか。

気^きもち。

みさきが へやで 本^{ほん}を よんで いると、とつぜん
へやの でん気^きが きえました。みさきは びっくりし
て、さけびました。

②でん気^きが きえて、みさきは どんな 気^きもちに なりましたか。

した 気^きもち。

しのぶが そだてて いる あさがおの 花^{はな}が さき
ました。しのぶは うれしくて、とびはねました。

③花^{はな}が さいて、しのぶは どんな 気^きもちに なりましたか。

気^きもち。

どんな 気持ち

なまえ

つぎの 文^{ぶん}を よんで、①から ③の もんだいに こたえましょう。

れいは、おかしを もらうと、えがおに なりました。

① れいは、どんな 気^きもちに なりましたか。

() おかしを もらえて、うれしい 気^きもち。

() おかしが もらえなくて、ざんねんな 気^きもち。

たつやは、しあいに まけて、大^{おお}ごえで なきました。

② たつやは、どんな 気^きもちに なりましたか。

() しあいに まけて、くやしい 気^きもち。

() しあいが おわって、ほっとした 気^きもち。

まゆみは、かみなりが なって、びくっと しました。

③ まゆみは、どんな 気^きもちに なりましたか。

() かみなりが なりそうで、ふあんな 気^きもち。

() かみなりが なって、おどろいた 気^きもち。

どんな気持ち

なまえ

つぎの文をよんで、①から②のmondaiにこたえましょう。

ゆうが、こうえんであそんでいると、目のまえに青いとりがとんできました。ゆうは、目をまるくしました。

① — のとき、ゆうはどんな気持ちですか。
○を つけましょう。

() 目のまえに青いとりがいて、こわい気持ち。
() 青いとりがとんできて、おどろいた気持ち。

あるさむい日のあさ、きつねが目をさますと、そこにゆきがつもっていました。きつねはいえをとびだして、ゆきの上をはしりまわりました。

② — のとき、きつねはどんな気持ちですか。
○を つけましょう。

() ゆきがたくさんふって、うれしい気持ち。
() ゆきがふりすぎて、いやな気持ち。